

メルマガ ～美人ショップ店員の連 絡先を訊き出す～

【主な内容】

【5】 件名

※△△

○○

どうも、TAKUMI です。

さて今日は、
頭の中で高めたセルフイメージを
どうやって現実世界に、反映させたのか？

その問いに対する回答を
お届けします。

ただ、今回話すことは、
少し尺が長くなってしまったので、
今日と明日の2部作として、お届けしたいと思
っています。

ただ、今日お伝えすることだけでも、
かなり重要なことをお伝えしていますので、

ぜひ、最後まで読み進めてくださいね。

...

かつての僕は、
ロックミュージシャンの「GACKT」さんに
強く憧れていました。

だから、彼のように女性にモテるようになりた
い
と考えた僕は、

彼の真似をしていた時期がありました。

しかし。

全く、女性にモテなかった

という経験をしたことがあります。

なぜか？

理由は簡単です。

それは、GACKTさんの真似を

“ただ表面的に”行っていただけだから。

何の魅力もオーラもない人が、
GACKT さんの真似をして、

「ほら、こっち向けよ。お前の笑顔が見たいんだ。」

とかって、女性に向かって優雅にカッコつけても、
それは、ただ痛いだけなんです。

この意味、

分かりますよね？（笑）

例えば、

GACKT さんのモノマネをしていた、
トレンディエンジェルの斎藤さん

という方がいますが、

彼が GACKT さんの曲を熱唱しただけで、
あんなにウケる芸になるのは、

彼が GACKT さんとは似ても似つかないルックスなのに（頭も禿げてるしw）、
でも妙に歌が上手くて似てるから、そのギャップが面白さとして

見てる人に伝わるからなんです。

でも、これを
お笑いではなく、美人女性を本気で口説くため
に
GACKT さんのモノマネ（というより、猿マネ）
を使用したならば、、

おそらく、
多くの女性から、
悲鳴を上げられることでしょう。

レベルの高い女性ならば、
それを逆手に取って、

「面白いわね。GACKTさんのモノマネ？」

といった返しで、
嘲笑されて、全く相手にされません。

要は、こんな感じです。

痛いんですね（笑）

だから、憧れの対象を見つけたからといって、
単純に憧れの人物の真似を、ただ表面的にやっ
ても、
それはぜんぜんダメだ、ということです。

では、なぜ GACKT さんの場合
カッコ良く見えるのか？

それは、彼の中にある、
さまざまな経験の中で作られた
人生哲学だったり、想いだったり、

そうしたものが形成するマインドが、
ああした独特のしぐさや、大胆な行動として現
れ、
それが女性にとっての魅力として映るんです。

そう。

全ては、

“マインドありき”

だという話です。

これがないまま、
ただ行動だけでも真似ても、
めちゃくちゃ痛いものになる。

だから、マインドを鍛えることは
必須だと言えると思います。

ここで少し、
おさらいしますね。

自分をモテる男に成長させるためには、
まず、

憧れの対象を見つけて
自分の頭の中でのセルフイメージを高める。

さらにその後、

「自分のマインドを鍛える」

ステップを踏む必要がある。

マインドを鍛えるとは、
どういうことか？

それは、
自分の中にある

「人生哲学」を深めること

に、他なりません。

人生哲学とは、

人として、美しく在るために、
自分は、今、瞬間、どう在るべきなのか？

そうしたものを弾き出すための「考え方」
といっても良いと思います。

素晴らしい考え方を持っている人は、
それ相応のふるまいや、行動を取ります。

それが魅力として表れ、

見ている人を惹きつけます。

そうした男性が、
美人な女性にもモテる、というのは
当然の話なんですね。

だから、マインドを鍛え、
男としての魅力を底上げすれば、

今回のメール講座のメインテーマでもある、
狙った美人ショップ店員の女性と仲良くなり、
連絡先を交換するぐらいのスキルは、

簡単に手に入れることができる、

という、
ものすごくシンプルな話です。

鍛えられたマインドさえ手に入れば、

無料レポートの中で語られていた方法を使って、
美人ショップ店員と仲良くなって、
連絡先を交換するぐらい、

わけないと思います。

テクニック云々

といった話ではないんですね。

そういったものは、マインドを強化してから、
いくらでも身に着けていけばいい。

...

話を戻します。

トレンディエンジェルの斎藤さんが、
GACKT さんがいつも女性にしている落とし方
で、
(出会ってすぐ、女性にキスして恋に落とす、と
か)

美女を口説こうとすれば、
おそらくセクハラで訴えられ、
手錠を掛けられてしまうでしょう。

なぜなら、
斎藤さんは、GACKT さんじゃないから。

斎藤さんには、
斎藤さんの女性のモテ方
というものがあるんですね。

それと同じことが、
昔の僕にも言えた、というわけです。

...

では、僕の場合、
どうやってマインドを鍛えたのか？

僕はある時、
自分は自分としての、
「理想の在り方」を見つけて、
それを追及していかないといけない、と気が付
きました。

でもそれは、
難しいことではありませんでした。

なぜなら、僕には、
憧れの存在、

カリスマロックミュージシャンの
「GACKT」さんという存在がいたから。

どういうことか？

途中までは、

「GACKT さんに、なりたい！」

とかって考えていたんです。

しかし、

それは不可能だと、ある時点で気が付きました。

理由は簡単で、

僕は GACKT さんじゃないから。

当たり前ですけどね（笑）。

だから、

僕は、僕の道を見つけなければならない、と。

すなわち、
自分自身の「人生哲学」の追及です。

ある時点で、GACKTさんへの「憧れ」
の感情に対する解釈を、変えました。

というより、
「正しい解釈」を理解しました。

それは、

「憧れの存在を通して、理想的な未来の自分を
垣間見る」

というものです。

実は、僕は、
GACKT さんに出会う以前にも、

頭の中で思い描いていた
「男としての理想の自分像」が、
無意識の領域の中に存在していたんです。

でもそれは、奥深いところに眠っていて、
ほとんど認識できずにいた。

しかし、GACKT さんと出逢ったことによって
それをぼんやりと認識できる領域まで浮かび上
がった。

そのことに、
ある時点で気が付いたんですね。

例えるなら、
誰にも知られていなかった、
海底奥深くに沈んでいた宝船が

何かのきっかけで
海面近くまで浮上し、

ようやく、
人々に知られるようになった。

そんな感じです。

そのきっかけというのが、
「GACKT さんとの出逢い」だった

という話です。

当時は、GACKT さんの曲を CD で聴いたり
YouTube で動画を見ているだけだったのですが、

それだけでは、ぼんやりとした、

理想の自分象が、より鮮明なものにならないと

気付いた僕は、

「もっと自分自身を知りたい！」

ということで、

自分の限りある大切なお金と時間を使って、
彼のライブにも足を運んで、逢いに行ったこと
も何度もありました。

ライブ DVD もたくさん買いました。

そう。

全ては、彼を通して、
理想の未来の自分を見ていたのです。

これがそのまま、
マインド強化にも繋がっていきます。

そうしていく中で、
どんどん、理想の自分というものが
見えてくるようになってきました。

しかし、ある程度のところまでくると、
GACKT さんだけ見ていると、
理想の自分を、さらに鮮明なものにしていくこ
とができない、

と気付いた僕は、
何となくネットサーフィンをしている時に、
ある情報が目に付きました。

それは、

インターネットを使って、
独立起業している人たちの存在でした。

なぜ、目に留まったか？

当時、僕は会社員をしていました。

しかし、会社員を続けていても、
GACKTさんを通して見つけた理想の自分には
なれない、と行き詰まりを感じていました。

まあ、これにはいろいろ理由があったのですが、
一つは、

会社員では、基本的に
「お金持ち」にはなれない

ことが、
大きな理由としてありました。

以前のレポートでもお伝えしましたが、
美人な女性ほど、「お金持ちが好きだ」と言うの
は、

何の不自然もない、本心本音なんですね。

沢山お金を稼ぎ出す、
経済的に強い「雄」を求める

というのは、生物上、
「雌」としての、根源的な欲求です。

ですから、
自分も、GACKTさんのように

沢山お金を稼ぎ出す男になりたい！

というのが、理想像として、強くありました。

しかし、その方法が見つからず、
頭打ちしていたんです。

理想の自分になれない = 理想の女性が手に入ら
ない

この等式が、
僕の頭の中で、完全にイコールで結ばれていた
ので、
当時は、必死でした。

アンテナを張って、ネットサーフィンして、
ようやく、その方法が見つかったんです。

というより、僕が思い描いている「お金持ち」の
夢を
叶えている人たちを、見つけたんですね。

当時から、
「独立起業」という言葉には、反応していたの
で、
彼らのことを、ネットを通じて、よく知るようになっ
ていきました。

そして、憧れの対象が、GACKT さんだけでなく、

そんなネット起業家の何人の方々も、含まれるようになっていきました。

当時、彼らのことが、ものすごく気になるようになった僕は、

「セミナーをします。」

という、一通のメールを読んで、

「これだ！」

と直感的に思い、

迷わず、自分の限りあるお金と時間を投資して、
彼らに会いに行くことにしました。

そうして得た出逢いによって、
僕はさらに、理想の未来の自分を鮮明にしていく
ことができました。

これが女性にモテることにも、
そのまま直結していったので、ものすごく楽し
い時間を過ごすことができました。

その詳しい理由については、
明日のメールでお伝えしますね。

今日は、少し長くなってしまったので、
この辺で。

ここまで読んでいただき、感謝します。

TAKUMI